

2021年3月4日
東京海上ホールディングス株式会社

2021年「データマネジメント大賞」の受賞

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長グループ CEO:小宮 暁、以下「当社」)は、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム(会長:栗島 聡、以下「JDMC」)が主催する「データマネジメント賞」において『データマネジメント大賞』を受賞しましたので、お知らせします。

1. 「データマネジメント賞」について

「データマネジメント賞[※]」とは、データマネジメントにおいて、他の模範となる活動を実践している企業・機関などの中から優秀なものに対して授与される表彰制度であり、今年で8回目を迎えます。最も優れた取り組みが表彰されるデータマネジメント大賞のほか、特別賞・データ統合賞・先端技術活用賞・アナリティクス賞が表彰される中、この度、当社が取り組む「データを活用する態勢構築と人材育成」が、データマネジメント大賞を受賞いたしました。

※ 詳細は JDMC の WEB ページをご覧ください。

<https://japan-dmc.org/?p=13341>

2. 「データを活用する態勢構築と人材育成」について

デジタル化の実現には高度なデータの利活用が不可欠です。しかし、これまでの環境では、データ分析の際に様々なシステムからデータを抜き出し、その都度処理を行うという手間を要していました。そこで当社では、多種多様な大量のデータを収集・蓄積するデータ統合基盤(データレイク)を構築しました。また、集めたデータを活用していくため、AI やビッグデータ分析ツール・可視化ツールなどを備えた分析環境(データラボ)を立ち上げ、データの分析結果を広く2次加工できるようにしました。

データ活用のインフラ強化に加え、データを活用する組織・人材の高度化に向けた産学連携によるデータサイエンティスト育成のための専用プログラム「Data Science Hill Climb」を2019年度に創設しました。さらに、2020年度からは延べ260時間を超える本プログラムを外部開放し、広く社会に提供しています。プログラム参加者は、業種を超えた交流により、数理的能力のみならず、データの背景にあるビジネスへの理解と洞察力の強化を図る事ができました。この取り組みを通じて、日本全体のデータサイエンス人材の育成にも貢献しています。

3. 表彰式の様子

2021年3月4日、都内にてJDMC主催による表彰式が開催されました。表彰式には当社副社長執行役員・グループデジタル戦略統括の岡田が参加し、受賞のスピーチを行いました。

【表彰式の様子】



当社は今後も、お客様と地域社会の「いざ」をお守りしていくため、より高度なデータ・デジタルの活用を進めてまいります。

以上